

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	『疎水百選に選ばれた水路を活用したグリーンツーリズムの構築事業』立科町 'グリーン&クリーンリゾート女神湖'としての地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人信州たてしな観光協会 0267-55-6654
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	598,740 円 (うち支援金: 478,000 円)

事業内容

■森林トレイルプログラムの構築及びガイド養成

ガイド養成講座を3回開催。ガイドルートの新規開拓を始め、豊島区学習旅行の実践をし、新たに星空案内を実施。また、冬季スノーシューでの雪上ハイキングの実践講座を行なった。

■ヒメボタル保護と観察会の

ヒメボタル鑑賞地の隣接「満天星広場」にて星空観賞も併せて案内。解説付きチラシを作成配布を行った。

■女神湖カヌー大会開催及びカヌー教室の実施

大会は天候不順で中止。町民体験及び蓼科高校課外授業を行った。



【カヌー体験教室】

【目標・ねらい】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

■森林トレイルプログラムの構築及びガイドの養成

①立科の「水」の歴史文化について学び、新しい案内ルートを2本開拓。豊島区立小学校の林間学校での森林プログラムを昨年に続き実践、1510名の受入れを行い、また、ゴンドラでのナイトツアーで星空案内を実施、今後のプログラムの充実を図ることができた。

■ヒメボタル事業

夏季シーズン前のツールとして貴重で、その環境整備を昨年実施、今シーズンの影響を心配したが、特に時期的には早めであった、減ることはなく毎年の鑑賞者には大きな成果である。③教育旅行始め、近隣の施設から約2,300名の来場があった。

■女神湖カヌー大会開催及びカヌー教室の実施

カヌーの体験プログラムを実施。蓼科高校の課外授業として定着し、地域の理解が深まった。駅伝は中止となったが、カヌーの練習場所としての注目されるようになり、今後の活動に大きく貢献できた。

- ①立科の資源である「水」を生かし、観光の町の発展の一途とする
- ②アウトドアプログラムを構築するために内容を充実させると共に、商品化への具体的な展開が出来た
- ③事業を通じて、都市部との交流を深め、地域活性化に繋げる

※ 自己評価 **【A】**

【理由】予定していた以上に参加者の積極的な関わりを得て、次年度以降の活動に事業化への目途がつきつつある。